

# 謹んで新年の

明けましておめでとうございます。

地方拠点都市地域の指定、短大の誘致、樹海ドームのオープンに続き、昨年は、七月に待望の大館能代空港（あきた北空港）が開港し、東京・大阪・札幌と空路で結ばれたのに加え、年末には国道103号大館南バイパスと自動車専用道路・国道7号大館西道路が供用開始されました。これにより、高速交通体系の整備は一段と進展いたしました。また、北部老人福祉総合エリア（仮称）では、特別養護老人ホームをはじめとする本市整備部分の各施設が完成し、五大プロジェクトとして掲げられた事業のすべてが、その姿を現した年でありました。

しかし一方では、長引く不況、景気低迷からいまだ抜け出せない我が国の経済情勢の下、全国の自治体が困難な行政運



議長 吹谷 柳太郎



営を強いられています。そんな中、都市基盤整備が着実に進む本市においても大変厳しい財政状況での新年のスタートとなりました。行財政改革の推進等、執行機関と協調しながら、一日も早くこのような状態から脱け出し、市民の皆様の声にこたえて最大限の行政効果を上げるため、できる限りの努力をしたいと決意を新たにしているところでございます。

二十一世紀を目前にした本年が、大館市と市民の皆様の新しい希望の出発点となるよう、市議会はその機能を十二分に発揮し、皆様のご期待に沿うべく努めてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成十一年が、皆様にとりまして幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。